

令和7年度シラバス（保健体育）

学番19 新潟県立五泉高等学校

教科（科目）	保健体育（体育）	単位数	2 単位	年次	3 年次（全系列）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	① 良識ある社会人として社会に貢献するために、主体性・自律性を育成します。 ② 多様な進路に対して、自己実現を目指し、自らの将来を設計していく力を育成します。 ③ 情報化、国際社会の中で、高い知性を持ち課題を解決していく能力を育成します。 ④ 他者との共生社会の中で、多様な考えや価値観を尊重する豊かな心を育成します。
カリキュラム・ポリシー	① 総合学科における必修科目である「産業社会と人間」を設置するとともに、多様な科目選択制の教育課程を編成します。 ② 1 年次は共通の科目を学び、2 年次から人文科学、自然科学、総合ビジネスの3 系列に分かれ、それぞれの系列で選択科目を柔軟に編成し、一人一人の進路に応じた学習を行います。 ③ 3 系列のいずれにおいても、大学進学を目指したきめ細かな学習指導を行います。 ④ 3 年間を見据えた「きらきらいずみプログラム」等によるキャリア教育・探究活動をととして、進路意識や社会性を育むとともに、地域理解や課題解決について主体的に学習します。

2 学習目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1）運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。
- （2）生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- （3）運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導の重点

運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次のとおりです。		
	知識・技能（a）	思考・判断・表現（b）	主体的に学習に取り組む態度（c）
	以上の観点を踏まえ、 ・技能の観察 ・スキルテスト ・体育理論（知識確認） ・体育学習カード（内容確認） などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・仲間との会話、コミュニケーション等の観察 ・体育学習カード（内容確認） などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・自発的行動等の観察 ・体育学習カード（内容確認） などから評価します。

6 学習計画

考査		単元名（学習項目）	授業時数	学習活動（指導内容）	評価の観点	評価方法
前期	I 期 中 間	オリエンテーション 体づくり運動 屋外型球技種目選択 （ソフトボール/テニス/サッカー）	1 3 4	・科目及び授業内容の説明、諸連絡、諸注意 ・体ほぐしの運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力に応じた運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への進入などから攻防を展開する。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。	・bc ・abc	・技能観察 ・コミュニケーション等の観察 ・自発的行動等の観察 ・体育理論（知識確認） ・体育学習カード（内容確認） ・スキルテスト ・出席状況
	I 期 期 末	屋外型球技種目選択 （ソフトボール/テニス/サッカー） 体育理論 体づくり運動	10 2 2	・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への進入などから攻防を展開する。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。 ・スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴について理解できるようにする。（現代高等保健体育教科書使用）	・abc ・ab	
	II 期 中 間	屋外型球技種目選択 （ソフトボール/サッカー/テニス） 体育理論	10 2		・ab ・abc	
後期	II 期 期 末	体育理論 屋内型球技種目選択 （バスケットボール/バレーボール/ バドミントン） 体づくり運動	2 12 2	・スポーツの歴史、文化的特性や現代スポーツの特徴について理解できるようにする。（現代高等保健体育教科書使用） ・球技について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への進入などから攻防を展開する。ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。	・ab ・abc ・ab	
	年 次 末	屋内型球技種目選択 （バスケットボール/バレーボール/ バドミントン） 体づくり運動	17 3	・体ほぐしの運動、体力を高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力に応じた運動計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。	・abc ・ab	

7 課題・提出物等

計 7 0 時間（50分授業）

- ・単元ごとに体育学習カードを記入し、提出することとなります。
- ・単元に対する体育理論（知識確認プリント）があります。

8 担当者からの一言

健康・安全や運動について理解し、運動を合理的に実践する能力を身に付けてほしい。

また、生涯にわたって運動に親しみ、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を身に付けてほしい。